



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月7日

上場会社名 リソルホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5261 URL <https://www.resol.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 齊藤 達男 TEL 03-3344-8861
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	30,404	7.1	3,303	23.2	3,121	21.6	2,708	38.9
2025年3月期	28,400	10.4	2,681	26.3	2,566	31.8	1,950	38.1

(注) 包括利益 2026年3月期 2,698百万円 (38.0%) 2025年3月期 1,955百万円 (38.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	487.40	—	15.7	7.1	10.9
2025年3月期	350.98	—	12.7	5.9	9.4

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	43,895	18,326	41.7	3,294.77
2025年3月期	43,481	16,181	37.2	2,909.53

(参考) 自己資本 2026年3月期 18,309百万円 2025年3月期 16,165百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	4,764	△1,639	△3,257	3,969
2025年3月期	4,143	△2,011	△1,622	4,100

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00	555	28.5	3.6
2026年3月期	—	0.00	—	110.00	110.00	611	22.6	3.5
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	120.00	120.00		34.2	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	2.0	3,400	2.9	3,200	2.5	1,950	△28.0	350.92

(注) 2027年3月期につきましては年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無
新規 一社、除外 一社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 有
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	5,564,200株	2025年3月期	5,564,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期	7,131株	2025年3月期	8,026株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	5,556,849株	2025年3月期	5,555,995株

(注) 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については添付資料20ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（1株当たり情報の注記）」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	5,841	6.9	199	△30.1	113	△56.7	602	288.5
2025年3月期	5,462	9.3	284	—	262	384.1	155	77.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	108.48	—
2025年3月期	27.93	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2026年3月期	32,632		9,881		30.3	1,778.26		
2025年3月期	31,664		9,830		31.0	1,769.29		

(参考) 自己資本 2026年3月期 9,881百万円 2025年3月期 9,830百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(表示方法の変更)	14
(会計上の見積りの変更)	14
(セグメント情報等の注記)	15
(1株当たり情報の注記)	20
(重要な後発事象の注記)	20
(その他)	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

<事業の経過及び成果>

当連結会計年度は、訪日外国人旅行者数が歴史的な高水準のペースで推移し、消費動向が買い物などの「モノ消費」から利便性・安全性・高付加価値を備えた「コト消費（宿泊・飲食・体験）」を求める方向へ本格転換したことで、インバウンド消費は引き続き伸長しました。さらに、安定的な国内旅行やゴルフの消費、企業における人的資本拡大による研修需要などに支えられ、事業環境は堅調な状況が継続しています。なお、懸念されていた中東情勢の影響や、中国からの訪日需要の変動につきましては、先行き不透明な状況が続いているものの、当連結会計年度における影響は限定的なものにとどまりました。

このような経営環境のもと、当社グループでは、インバウンド需要への対応を一層強化するために、マーケティング施策やニーズに応じた商品・プランの造成などに努めました。同時に、ブランドイメージの強化を目指して接客体制の強化や施設の上質化に取り組みました。さらに、グループの価値基準である「あなたのオフを、もっとスマイルに。」のもと、高品質なサービス提供を図り、お客様の満足度向上に努めるとともに、長期方針である3つの「やさしい」（人にやさしい・社会にやさしい・地球にやさしい）を実践しました。

以上の結果、売上高は30,404百万円（前期比7.1%増）、営業利益は3,303百万円（前期比23.2%増）、経常利益は3,121百万円（前期比21.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,708百万円（前期比38.9%増）となりました。

事業のセグメント別の主な状況は、以下のとおりでございます。

<ホテル運営事業部門>

ホテル運営事業では、旺盛なインバウンド需要を捉え、各ホテルにおいてアジア・欧州など地域特性に応じたプロモーション施策を積極的に展開した結果、客室単価・稼働率ともに順調に向上し、業績は好調に推移しました。さらに、大阪エリアにおいては大阪・関西万博の波及効果も寄与しました。主力ブランドである「リソルホテルズ」では、「物語のあるホテル」をコンセプトに、“ツーリストホテル”としての強みをいかしたブランド構築を進め、サービスと品質の向上に取り組みました。特に「観る・食べる・体験する・買い物する」を提案することでホテルでの滞在をより充実したものにするコンシェルジュサービスを拡充。ホテル館内での日本文化体験イベントや、専任スタッフ「サービスコーディネーター」による周辺情報の案内などを実施し、お客様のニーズを満たすサービス提供を図りました。同時に、新規運営ホテル「後楽ガーデンホテル」の開業準備や、さらなる新規物件開拓を進めました。

滞在型貸別荘事業「リソルスティ」において、「暮らすように泊まる。」をコンセプトに、マンスリー施設では軽井沢を中心に10施設、デイリー・ウィークリー施設では需要の高い箱根エリアで3施設を開業するなど、中長期滞在ニーズに対応した商品ラインアップの拡充を進めた結果、予約件数、宿泊日数、会員数はいずれも前年を上回り、売上は好調に伸長しました。

以上の結果、ホテル運営事業部門における売上高は16,433百万円（前期比10.4%増）、経常利益は3,277百万円（前期比30.3%増）となりました。

<ゴルフ運営事業部門>

ゴルフ運営事業では、夏季シーズンの酷暑対策として導入したクーラー付きカートの効果に加えて、会員権販売の好調も寄与し、業績は堅調に推移しました。コース・クラブハウスの上質化、ホスピタリティの強化などプレー環境の改善に向けた施策を重点的に実施したことで、来場者数及び客単価は前年を上回りました。加えて、ゴルフ&ステイ商品の強化により、インバウンドの来場者数が増加しました。特に、“フェアウェイフロントヴィラ”を展開する「瀬戸内ゴルフリゾート」では、韓国を中心としたアジア諸国からの宿泊を伴うゴルフ利用が好調となりました。同時に、“フェアウェイフロントヴィラ”の更なる拡大に向けた開発準備を進め、「瀬戸内ゴルフリゾート」での第二期計画および、「大熱海国際ゴルフクラブ」での新規計画を着実に進行しました。

以上の結果、ゴルフ運営事業部門における売上高は8,551百万円（前期比2.3%増）、経常利益は979百万円（前期比5.0%増）となりました。

<リソルの森事業部門>

リソルの森事業では、グループのランドマーク施設である体験型リゾート「Sport & Do Resort リソルの森」の運営とエリア内不動産及び会員権販売事業を展開しました。

ゴルフ部門（真名カントリークラブ）では、コースメンテナンスの向上やクラブハウス内施設の更新などサービスの上質化に継続的に取り組んだ結果、客単価の上昇および会員権販売が順調に推移しました。また、リゾート滞在とゴルフを組合わせた「ゴルフ&ステイプラン」においては、空港送迎サービスを実施したことで、インバウンド利用が大きく伸長しました。

リゾート部門では、夏祭りやスカイランタンなどのイベントの他、スポーツや季節プログラムを目的とした宿泊需要が拡大し、エリア内の飲食や物販売上も大幅に増加しました。また、愛犬同伴型高級ヴィラエリア「Dear Wan Spa Garden」は、年間を通して高単価・高稼働を維持し、業績に寄与しました。

以上の結果、リソルの森事業部門における売上高は4,235百万円(前期比6.6%増)、経常利益は299百万円(前期比1.5%減)となりました。

<ウェルビーイング事業部門>

ウェルビーイング事業では、業界最大級のメニュー数及び競合他社と差別化したプラン「精算プラン」「カフェテリアプラン(プラスユアチョイス)」「従量制プラン」を強みに、新規顧客の獲得に注力しました。また、大手金融機関と連携した新規顧客開拓が順調に進み、新規契約が増加しました。同時に既存会員の利用促進のため、魅力的なサービスメニューの開発と利便性向上に努めました。また、ウェルビーイング領域における福利厚生ニーズの増加に伴う市場拡大を見据え、企業へ専属的に寄り添う「ハウスエージェント」、パートナー連携のための「OEM戦略」を打ち出し、新たなビジネスモデルの構築に向けて取り組みました。

以上の結果、ウェルビーイング事業部門における売上高は1,055百万円(前期比9.4%増)、経常利益は130百万円(前期比110.1%増)となりました。

<再生エネルギー事業部門>

再生エネルギー事業では、売電事業および自家消費型事業を中心に展開しました。売電事業については、リソルの森の施設内において1.5MWの太陽光発電設備を運営し、年間約150万kWhの売電を実施しました。また、自家消費型事業については、「有田リソルゴルフクラブ」において当社グループのゴルフ場では5ヶ所目となるソーラーカーポートの建設工事を実施し、2026年2月より稼働を開始しました。今後もこれまで培った知見をいかし、ゴルフ場を中心に自家消費型事業を展開し、「地球にやさしい」企業グループを実践します。

以上の結果、再生エネルギー事業部門における売上高は102百万円(前期比1.2%減)、経常利益は31百万円(前期比40.2%減)となりました。

<投資再生事業部門>

投資再生事業では、市場環境を見据えた資産の入替を進め、ペット同伴可能な宿泊施設1棟及びゴルフ場1施設を売却するなど、保有資産の効率化を推進しました。あわせて、新規運営施設の開拓・仕入れの検討を進めるとともに、ゴルフ場にヴィラを建設するリゾート型再生など、保有資産の価値向上と新規事業の構築に取り組みました。さらに、当社グループ初の海外ゴルフ事業進出として、タイ・バンコクの「ザ レガシー ゴルフクラブ」と業務提携し、日本人・アジア市場向け送客支援や運営改善支援を通じて、海外展開の足掛かりを築きました。

以上の結果、投資再生事業部門における売上高は25百万円(前期比76.8%減)、経常利益は3百万円(前期比85.9%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産につきましては、前年同期比414百万円増加し、43,895百万円となりました。固定資産が1,323百万円増加したものの、販売用不動産が929百万円減少したこと等が主な要因です。

負債につきましては、前年同期比1,730百万円減少し、25,569百万円となりました。長期借入金金が1,091百万円減少し、預り保証金が656百万円減少したこと等が主な要因です。

純資産につきましては、前年同期比2,145百万円増加し、18,326百万円となりました。利益剰余金が2,152百万円増加したこと等が主な要因です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の増加が4,764百万円、投資活動による資金の減少が1,639百万円、財務活動による資金の減少が3,257百万円により当連結会計年度期首残高より131百万円減少いたしました。

その結果、当連結会計年度末は3,969百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果、増加した資金は4,764百万円となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益3,130百万円、減価償却費1,246百万円、棚卸資産の増加による減少158百万円、その他の負債の増加663百万円、利息の支払による減少209百万円があったこと等によるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果、減少した資金は1,639百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出2,028百万円、連結の範囲の変更に伴う子会社株式の売却による収入464百万円があったこと等によるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果、減少した資金は3,257百万円となりました。

これは主に長期借入金の増加による収入1,800百万円、長期借入金の返済による支出4,239百万円、預り保証金の返還による支出660百万円があったこと等によるものです。

<キャッシュ・フロー指標のトレンド>

	第129期 2022年3月期	第130期 2023年3月期	第131期 2024年3月期	第132期 2025年3月期	第133期 2026年3月期
自己資本比率 (%)	34.5	31.6	34.0	37.2	41.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	62.5	62.6	70.3	63.9	89.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	7.7	12.5	4.2	3.7	2.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	7.4	5.4	16.8	16.9	17.2

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く事業環境は、旺盛なインバウンド需要と安定的な国内旅行やゴルフの消費を背景に引き続き堅調に推移するものと見込まれます。一方で、需要動向は外部環境の変化により大きく変動する懸念もあります。このような環境のもと、当社グループでは引き続き、ホテル・ゴルフ場・リゾートなどの「施設運営」を軸に、「ウェルビーイング」、「ソリューションビジネス」の事業領域で独自のビジネスモデルを展開しながら、どんな環境でも選ばれる会社として、顧客サービス品質と提供価値の向上に努めます。

主力のホテル運営事業においては、“ツーリストホテル”として独自の強みをいかし高品質なサービスを提供し、他社との差別化を図ります。特に、専任の「サービスコーディネーター」を「リソルホテルズ」ブランドの各施設に配置し、お客様の旅に寄り添うコンシェルジュサービスを強化することで、顧客満足度の向上とリピーター創出に努めます。

安定的なゴルフ運営事業においては、夏場の利用者減少への対策として、クーラー付きカートの導入拡大や暖地型芝への転換などによるコースメンテナンス強化を推進し、オフピーク時の稼働率平準化と収益力強化の実現を目指します。また、将来的な国内プレーヤー人口の減少を見据え、インバウンド集客体制の整備を進めます。なかでも、“フェアウェイフロントヴィラ”では、高級ヴィラでの滞在を通じた体験価値で選ばれるゴルフリゾートとして進化を加速させます。

ホテル・ゴルフ場の運営施設拡大を図るため、財務の健全性を意識しながら、戦略的なM&Aによるゴルフ場の取得、計画的なホテルの出店、多様なニーズに対応した新たな宿泊施設の展開、海外ゴルフ場との提携拡大など、継続的な事業拡大を進めてまいります。また、事業規模の拡大に伴う人材確保と育成も重要な課題と捉え、採用・人材開発体制の強化を進め人的資本投資の拡充に努めます。さらに、オペレーションの改善やDX・AI活用の推進により業務効率の改善を図るとともに、原材料・エネルギー等のコスト高騰への対応として、仕入れの統一化、ソーラーカーポートを活用した自家消費型太陽光発電等、コストの適正化への対応を一層強化します。

次期の見通しとしては、ホテル運営事業の更なるインバウンド需要の取込み等により、通期の業績予想としては、売上高31,000百万円、営業利益3,400百万円、経常利益3,200百万円、税務上の繰越欠損金の解消により税負担が増加するため、親会社株主に帰属する当期純利益は1,950百万円を見込んでおります。

なお、2027年度3月期につきましては年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業価値の更なる増大を目指し、収益性の高い事業への投資に充当するための内部留保の充実を図るとともに、事業環境や業績・財政状態の推移を見据えた上で、配当水準の維持向上に努めております。

当期の1株当たり配当金は期末110円配当を予定しております。また、次期の1株当たり配当金につきましても、期末120円配当の見込みです。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社間及び経年での比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,100	3,969
営業未収入金(純額)	1,958	2,083
商品	140	187
販売用不動産	2,088	1,158
貯蔵品	60	62
その他	932	910
流動資産合計	9,279	8,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,645	7,818
機械装置及び運搬具(純額)	737	976
工具、器具及び備品(純額)	687	776
土地	18,315	19,248
リース資産(純額)	1,006	1,034
建設仮勘定	169	259
有形固定資産合計	28,561	30,115
無形固定資産		
のれん	258	211
リース資産	79	66
その他	462	394
無形固定資産合計	799	673
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	1,053	846
差入保証金	3,329	3,469
その他(純額)	457	420
投資その他の資産合計	4,840	4,736
固定資産合計	34,201	35,524
資産合計	43,481	43,895

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	411	426
短期借入金	900	1,700
1年内返済予定の長期借入金	4,278	2,801
リース債務	243	271
未払法人税等	154	204
賞与引当金	303	342
役員賞与引当金	28	37
その他	4,076	4,256
流動負債合計	10,396	10,040
固定負債		
長期借入金	8,783	7,691
リース債務	996	955
繰延税金負債	21	8
退職給付に係る負債	395	422
従業員特別補償引当金	103	35
資産除去債務	196	201
長期未払金	10	17
長期預り金	86	544
預り保証金	6,309	5,653
固定負債合計	16,903	15,529
負債合計	27,300	25,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948	3,948
資本剰余金	2,267	2,270
利益剰余金	9,955	12,107
自己株式	△20	△18
株主資本合計	16,150	18,307
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	15	1
その他の包括利益累計額合計	15	1
非支配株主持分	15	16
純資産合計	16,181	18,326
負債純資産合計	43,481	43,895

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	28,400	30,404
売上原価	8,208	8,810
売上総利益	20,191	21,593
販売費及び一般管理費	17,510	18,290
営業利益	2,681	3,303
営業外収益		
受取利息	1	4
受取保険金	67	33
債務消却益	6	32
その他	69	59
営業外収益合計	145	130
営業外費用		
支払利息	182	209
支払手数料	62	67
その他	15	34
営業外費用合計	260	312
経常利益	2,566	3,121
特別利益		
固定資産売却益	0	32
違約金収入	400	—
従業員特別補償引当金戻入額	—	23
特別利益合計	400	55
特別損失		
減損損失	476	—
固定資産除却損	14	8
固定資産売却損	127	3
従業員特別補償引当金繰入額	26	—
子会社株式等売却損	—	30
その他	9	4
特別損失合計	655	47
税金等調整前当期純利益	2,311	3,130
法人税、住民税及び事業税	140	219
法人税等調整額	215	199
法人税等合計	356	418
当期純利益	1,955	2,712
非支配株主に帰属する当期純利益	5	3
親会社株主に帰属する当期純利益	1,950	2,708

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	1,955	2,712
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	0	△13
その他の包括利益合計	0	△13
包括利益	1,955	2,698
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,950	2,694
非支配株主に係る包括利益	5	3

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,948	2,244	8,449	△22	14,619
当期変動額					
剰余金の配当			△444		△444
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,950		1,950
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		1		1	3
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		21	0		21
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	23	1,505	1	1,530
当期末残高	3,948	2,267	9,955	△20	16,150

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	15	15	31	14,666
当期変動額				
剰余金の配当				△444
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,950
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				3
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動				21
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	0	0	△16	△16
当期変動額合計	0	0	△16	1,514
当期末残高	15	15	15	16,181

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,948	2,267	9,955	△20	16,150
当期変動額					
剰余金の配当			△555		△555
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,708		2,708
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		2		2	5
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動			△0		△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	2	2,152	1	2,157
当期末残高	3,948	2,270	12,107	△18	18,307

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	15	15	15	16,181
当期変動額				
剰余金の配当				△555
親会社株主に帰属する 当期純利益				2,708
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				5
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△13	△13	1	△11
当期変動額合計	△13	△13	1	2,145
当期末残高	1	1	16	18,326

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,311	3,130
減価償却費	1,179	1,246
のれん償却額	53	46
賞与引当金の増減額(△は減少)	40	38
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10	23
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	8	9
従業員特別補償引当金の増減額(△は減少)	—	△68
受取利息及び受取配当金	△1	△6
支払利息	182	209
受取保険金	△67	△33
有形固定資産売却損益(△は益)	127	△28
固定資産除却損	14	8
減損損失	476	—
債務償却益	—	△32
子会社株式等売却損	—	30
支払手数料	62	67
その他の特別損益(△は益)	1	4
売上債権の増減額(△は増加)	△133	△139
棚卸資産の増減額(△は増加)	△102	△158
その他の資産の増減額(△は増加)	243	△41
仕入債務の増減額(△は減少)	38	19
未払又は未収消費税等の増減額	△236	107
その他の負債の増減額(△は減少)	175	663
小計	4,385	5,095
利息及び配当金の受取額	1	6
利息の支払額	△176	△209
保険金の受取額	67	33
法人税等の支払額	△134	△161
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,143	4,764

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,006	△2,028
有形固定資産の売却による収入	64	98
無形固定資産の取得による支出	△81	△33
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	464
その他	11	△140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,011	△1,639
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,201	670
長期借入れによる収入	4,600	1,800
長期借入金の返済による支出	△3,291	△4,239
リース債務の返済による支出	△282	△270
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△443	△554
非支配株主への配当金の支払額	—	△2
預り保証金の純増減額(△は減少)	△1,003	△660
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,622	△3,257
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	509	△131
現金及び現金同等物の期首残高	3,590	4,100
現金及び現金同等物の期末残高	4,100	3,969

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「債務消却益」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた75百万円は、「債務消却益」6百万円、「その他」69百万円として組み替えております。

(会計上の見積りの変更)

退職給付に係る会計処理において、数理計算上の差異の費用処理年数は、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として8年で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当連結会計年度より費用処理年数を5年に変更しております。

なお、当該変更による当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは運営事業、開発事業、ウェルビーイング事業、リゾート関連事業及びこれらに付帯するサービスを行っており、さらに運営事業をホテル運営事業とゴルフ運営事業に区分しております。したがって、当社グループは、事業部門を基礎とした事業の種類別セグメントから構成されており、「ホテル運営事業」、「ゴルフ運営事業」、「リソルの森事業」、「ウェルビーイング事業」、「再生エネルギー事業」、「投資再生事業」の6つを報告セグメントとしております。

なお、当連結会計年度より報告セグメントを以下のとおりに変更しております。

(報告セグメントの名称変更)

当連結会計年度より、報告セグメントの名称を「福利厚生事業」から「ウェルビーイング事業」に変更しております。このセグメント名称変更による各セグメントの業績に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の名称により作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

I 前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	ウェルビーイ ング事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客 への売上高	14,888	8,357	3,974	965	103	111	28,400	—	28,400
(2) セグメン ト間の内部売上 高又は振替高	93	57	44	36	—	26	258	△258	—
計	14,982	8,415	4,018	1,001	103	138	28,659	△258	28,400
セグメント 利益	2,514	933	304	62	53	22	3,890	△1,323	2,566

- (注) ① セグメント利益の調整額△1,323百万円には、セグメント間取引消去△197百万円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△1,126百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。
- ② セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

Ⅱ 当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	ウェルビーイ ング事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
売上高 (1) 外部顧客 への売上高	16,433	8,551	4,235	1,055	102	25	30,404	—	30,404
(2) セグメン ト間の内部売上 高又は振替高	142	60	43	44	—	16	306	△306	—
計	16,575	8,612	4,279	1,100	102	41	30,710	△306	30,404
セグメント 利益	3,277	979	299	130	31	3	4,722	△1,600	3,121

(注) ① セグメント利益の調整額△1,600百万円には、セグメント間取引消去△227百万円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△1,373百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

② セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	ウエルビー イング事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	全社	合計
減損損失	334	64	—	—	—	77	—	476

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	ウエルビー イング事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	全社	合計
減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	ウエルビー イング事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	全社	合計
当期償却額	—	53	—	—	—	—	—	53
当期末残高	—	258	—	—	—	—	—	258

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	ウエルビー イング事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	全社	合計
当期償却額	—	46	—	—	—	—	—	46
当期末残高	—	211	—	—	—	—	—	211

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額	連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	ウェルビーイ ング事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
一時点で移転される財	14,887	7,935	3,837	261	103	111	27,136	-	27,136
一定の期間にわたり移転される財	1	422	136	703	-	-	1,264	-	1,264
顧客との契約から生じる収益	14,888	8,357	3,974	965	103	111	28,400	-	28,400
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	14,888	8,357	3,974	965	103	111	28,400	-	28,400

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額	連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	ウェルビーイ ング事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
一時点で移転される財	16,431	8,112	4,030	327	102	25	29,029	-	29,029
一定の期間にわたり移転される財	1	439	205	728	-	-	1,374	-	1,374
顧客との契約から生じる収益	16,433	8,551	4,235	1,055	102	25	30,404	-	30,404
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	16,433	8,551	4,235	1,055	102	25	30,404	-	30,404

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	2,909.53円	3,294.77円
1株当たり当期純利益	350.98円	487.40円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,950	2,708
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,950	2,708
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,555	5,556

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

(その他)

役員の変動

①代表取締役の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動

・新任取締役候補者
取締役 曾谷 友紀
取締役 岩場 潔

・退任予定取締役
取締役 小嶋 康司

③監査役の変動

・新任監査役候補者
常勤監査役 小嶋 康司

・退任予定監査役
常勤監査役 岩場 潔

④就任及び退任予定日

2026年6月26日

※詳細につきましては、2026年5月7日公表の「役員の変動に関するお知らせ」をご参照ください。